

令和7年度南三陸町議会3月会議 一般質問通告書

通告1番 星 岳大 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問件名 漁港の安全管理について

質問の相手 町長

質問の要旨 全国的に漁港等の岸壁から漁港従事者や車両の転落事故が多く発生している。そこで漁港の安全管理について次の点を伺う。

- 1 町内漁港の車止め（パーキングブロック）の設置状況や管理はどのようになっているのか伺う。
- 2 漁港施設のハシゴ（ラダー）の設置状況と必要性についてどのような考えか伺う。
- 3 県管理の第二種漁港も同様の問題がある。県に整備を働きかける必要があると思うが、考えを伺う。

2件目

質問件名 継続的な就学援助について

質問の相手 町長、教育長

質問の趣旨 当町では子育て支援に力を入れているが、物価高騰の影響もあり、進学時の保護者の負担が増加している。町として支援する考えがあるか伺う。

- 1 小中学校入学及び卒業時には、学生服、運動着はじめ多額の負担となっている。もっと町の支援が必要と思うが、考えを伺う。（質問の相手：町長）
- 2 小学校入学時に必要なものを統一することはできないか。（質問の相手：教育長）
- 3 「おさがりボックス」などの取り組みに町が支援し、利用の促進を図れないか。（質問の相手：教育長）

通告2番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問件名 総合計画の進捗状況について

質問の相手 町長

質問の要旨 復興事業の完遂にあわせ、第3次総合計画策定から2年が経過し、町にも変化が見られる。

については、現在の進捗状況と今後の取り組みにつき以下の点を伺う。

- 1 総合計画の現在の進捗状況について
- 2 総合計画と事業予算反映上のスケジュールについて
- 3 総合計画遂行上の年次業績評価を公表する考えについて

2 件目

質問件名 狭隘居住地集落の道路整備について

質問の相手 町長

質問の要旨 当町においては狭隘な地形が多く、地理的環境条件に合わせて河川沿いに集落を形成している地区も多い。そのような地域においては交通安全上の必要性から、河川道路整備と車両走行不能地域の改善要望も強く、以下の点につき考えを伺う。

- 1 危険箇所となる河川沿い道路のガードレール設置要望について
- 2 救急車等の緊急車両の走行不能地域に対する町道整備について
- 3 車両走行不能地域における史跡等保全上の道路整備の考えについて

3 件目

質問件名 地球温暖化に伴う今後の対応について

質問の相手 町長

質問の要旨 近年、地球温暖化の影響による温暖化での労働環境及び集中豪雨等による住環境の変化から不安を抱える住民も多く見られる。

については町の現況と今後の対応策の考えを伺う。

- 1 高温期間の長期化による各産業の労働環境への支援策について
- 2 新たな防災気象情報の運用に伴う町民への周知対応について
- 3 風水害による町道沿いの倒木被害の現況課題と対応について

通告 3 番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

質問件名 風通しの良い行政組織とは

質問の相手 町長

質問の要旨 東日本大震災により、課長、係長など多くの職員が殉職しました。そのような中で全国から多くの被災地支援の応援職員により、行政運営がここまで安定し、職員が落ち着いた行政の環境を構築してきました。

町長の風通しの良い役場の環境づくりを問う。

- 1 新規職員の採用の基準についての考えは。
- 2 若手職員が自分のスキルを高めていく中で、退職する理由は何なのか。
- 3 管理職の部下に対する指導の行き過ぎはないか。また、注意すべき若い職員への対応・指導は。
- 4 職員が住民に、また住民の職員へのモラハラなどの事例はあるか。

通告 4 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 町内観光産業に対する施策について

質問の相手 町長

質問の要旨 南三陸町のインバウンド観光は年々増加傾向である。今後も風光明媚な場所や海の幸をPRして町に経済効果をもたらすべきと思うが、次の点について伺う。

- 1 田東山周辺の名所を観光コースに入れ、大型バスを頂上付近まで上げる施策を考えては。
- 2 奥州藤原文化と田東山との関係をアピールすれば、もっと田東山が脚光を浴びると思うことから、歴史や文化を伝えるガイドの養成が必要ではないか。
- 3 神割崎～さんさん～田東山～ハマレなど町内巡りのおもてなしで経済効果を循環させる施策を考えては。

2 件目

質問件名 県職員の週休3日制導入に対する町の考えについて

質問の相手 町長

質問の要旨 宮城県では、令和8年1月から、全職員に対し、業務量や生活状況に応じて柔軟な働き方を選択することを狙いとした「選択的週休3日制」を導入したが、これに対する当町の考えについて伺う。

- 1 この制度をどのように受け止めているか。また、町としての今後の方針を伺う。
- 2 残業が多い職員も見受けられるが、現状からみて、この制度が職員にとって良い影響を与えるかどうか伺う。
- 3 職員採用にあたり、この制度の有効性を考えた場合、どの程度の効果があると思うか伺う。

3 件目

質問件名 伊里前市街地の町有地について

質問の相手 町長

質問の要旨 ハマレ南側公園は、信号機も設置され安全な環境となったが、有事の際は出口が1カ所だけで混雑が想定されることから、次の点を伺う。

- 1 公園を造成した際に、町と国道の協議不足により、国道と町有地の境界に大きな窪地ができて利用価値が無い状況である。その土地を埋め整地すれば出入りも可能となり有効活用できると思うので、今後協議をすべきと思うがその考えは。
- 2 歌津は海の町でもあるのに、公園や駐車場から海が見えない。何事も完成した後のことまで考えて設計や工事遂行すべきではないか。

通告5番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 復興から次のステージへ向かう観光業とは

質問の相手 町長

質問の要旨 町の観光業を取り巻く環境はコロナ禍を経た今でも依然として厳しい状況

にある。様々な現実的課題はあるものの、観光業の活性化を図ることはあらゆる産業に効果が波及し、持続的な地域経済循環のエンジンになると考える。まちづくりのフェーズが変わる今、地域間での行き過ぎた競争で格差が生じている観光市場の中において、当町が選ばれるための実効性があり、且つ当町ならではの強みを伸ばしていく施策を望む。

観光に対する価値観の変化、多様化が進む中で、震災復興から次の未来に向かう観光業について考えを伺う。

- 1 産業振興における観光業の位置づけ、方向性の考え方は。
- 2 「目的地化」していくための具体的アクションは。
- 3 観光にもネイチャーポジティブの考えが必要では。
- 4 宿泊税に関連する宮城県の施策について捉え方は。

2 件目

質問件名 未来のいのちを守るため今まで以上に災害伝承の取組み強化を

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 東日本大震災発生から15年となる今、災害の記憶の風化が刻々と進んでおり、未来のいのちを守るという意味で「伝承」は重要であると考えます。

しかし、伝承活動の現場においては次世代育成、活動資金確保など課題が山積しており、構造的課題を解決していくためには、行政が担う役割と施策実施が必要である。伝承活動を未来へ向かって持続的に継続させていくためにどのように取り組んでいくのか伺う。

- 1 災害伝承についての位置づけ、取り組みの考えは。(質問相手：町長、教育長)
- 2 今までの語り部活動への評価と今後については。(質問相手：町長、教育長)
- 3 町と各関連団体との連携強化は。(質問相手：町長)
- 4 命の教育、震災の語り継ぎについて取り組みは。(質問相手：教育長)

通告6番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 ハコモノ行政のあり方、すすめ方について

質問の相手 町長

質問の要旨 歌津地区に建設予定の施設について。

他の施設の成功事例として、施設整備にあたり、住民に対し100回以上の説明会を開いたという。当町における今後のすすめ方等をどのように考えているのか伺う。

- 1 これからの事業計画、町民への説明、意見聴取、合意形成のあり方について

2 件目

質問件名 町有地等及び公園の有効活用について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 町民の福祉向上、健康増進のための有効活用について伺う。

- 1 志津川地区の国道45号線沿いの一時芝生化した土地の活用について（質問相手：町長）
- 2 うみべの広場の有効活用について（質問相手：町長）
- 3 旧戸倉中学校のグラウンド等の活用について（質問相手：町長）
- 4 サンオーレそではまの遊具広場の通年活用について（質問相手：町長）
- 5 松原グラウンドの活用について（質問相手：町長、教育長）

通告7番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問件名 地域振興の現状と課題は

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 町の課題の根幹は、少子高齢化の進行と人口減少にあると思う。この止められない流れの中で、町民の幸福度を下げることなく地域振興をどう図っていくのか。

- 1 移住定住促進のための取り組みは順調か。（質問の相手：町長）
- 2 移住希望者の住まいの確保はできているか。（質問の相手：町長）
- 3 地域振興の核となる商店街の現状と課題は。（質問の相手：町長）
- 4 ひころの里は、今後、教育分野での活用を検討しては。（質問の相手：町長、教育長）